

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・「行動規範」で差別的扱いの禁止を掲げ、内容の理解と遵守を確認している。 ・コンプライアンス相談窓口等の設置をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・「行動規範」で人権の尊重を掲げ、各種ハラスメント等、人権や多様性を侵害する中傷発言や行為の禁止を確認している。 ・コンプライアンス相談窓口等の設置をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・毎月第3水曜日をノー残業デーとし実施している。									8.5 8.8								
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人労働者は在籍していないが「行動規範」で差別的扱いの禁止を掲げ、内容の理解と遵守を確認している。			4.4						8.7 8.8		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・労働安全衛生を含む、当社の統合マネジメントシステムを制定している。 ・毎月、安全衛生委員会と協力会社による合同安全パトロールを実施している。			3						8								
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・「ストレスチェック制度実施規程」により毎年ストレスチェックを実施し総体的な結果を安全衛生委員会で審議している。 ・「心身の健康づくり計画」及び「メンタルヘルス不調者に係る休職・復職に関する規程」を定め周知している。			3														
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・高齢者や子育て、要介護者がいる等、個々の実情に配慮した時短等の働き方を採用している。 ・「社員の子育て応援宣言」に登録している。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・業務に必要な資格等の取得を支援するため、費用を会社負担とし必要な時間を勤務時間としている。			4	5.5					8	9							
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・現在の雇用形態は全員が正規従業員である。					5.5				8.5		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・全国健康保険協会(協会けんぽ)長野支部「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている。 ・「健康経営優良法人認定(中小規模法人部門)」(経済産業省)を取得している。			3						8								
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・排出事業者として委託契約書、マニフェストによる管理。 ・長野県産業廃棄物3R実践協定締結。(R4～R7)											11.6	12		14.1			
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・電気及び化石燃料の使用量を把握しており、削減に努めている。									7.3					13			
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】自社のエネルギー使用量から温室効果ガス排出量の把握をし、削減計画を策定する。									7.2 7.3				12.4	13.3			
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・化学物質リスクアセスメント全社標準を策定し適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・年に数回、専門業者により社有地内の樹木の整理を実施している。 ・工事現場で使用する内燃機関機器には防油堤を設置する等の措置を講じている。						6.6							15					
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・印刷ミス紙の裏面を社内用印刷物に使用している。 ・工費用資・機材の再利用に努めている。 ・長野県産業廃棄物3R実践協定締結。(R4~R7)									13		14.1							
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・社内庭園池の貯水に敷地内雨水を利用している。 【予定】工事現場において、循環リサイクル方式の仮設トイレ導入を促進する。						6.4 6.6												
	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21の要求事項に基づいた環境への取り組みを出来ることから実施し認証を目指す。			3.9			6	7			12	13.3	14	15					
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・年に数回、公共施設及び排水路の清掃ボランティア活動を実施し、ホームページ及び社内月刊誌に掲載している。										12.6								
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工費用機器の電源の一部に太陽光パネルを採用している。							7.2					13						
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・非法材材を使用しないことの確認を行っている。										12.2	13	14	15					
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・「行動規範」のなかで、法令・規範の遵守及び過剰な贈答接待の禁止・拒否を整備し、周知している。														16 16.5				
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・関係する法人や組織・個人、その他取引先に対し、誠実に接し、節度ある健全、良好な関係を保ち、不正な決定、便宜供与、取引は行わないことと「行動規範」に掲げ実践している。															16			
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産権を厳格に保全すると同時に、他者の知的財産権を侵害しないことを含む「行動規範」を整備し、社内に浸透を図っている。								8.2 8.3	9									
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「行動規範」のなかで、適正な個人情報の収集・管理の厳格な取扱等を定め管理している。																16		
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している。																16		
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先と対話を通じて企業活動における倫理等の基方針及び法令遵守など相互の価値観等の認識を深めながら、事業に取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3						8	9	10						17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定